

## 環境との調和に配慮した暗渠排水のお願い

～ 暗渠排水用吸水管の素材について ～

みなさま充分ご承知のように、環境の21世紀といわれています。農林水産省でも提唱されているように、これからますます「環境との調和に配慮した整備事業」が重要になってきます。

そこで、暗渠排水用吸水管の素材による違いから派生する問題点を簡単な表にしてみました。

名称	素材	原料	排水機能寿命	懸念される環境汚染	寿命がきたときの処理
素焼土管	素焼	地場にある天然の粘土を高温で焼成	25～50年	汚染物質なし (地殻とほぼ同成分)	埋め殺しでも環境への影響少ない うえ、水質浄化作用の報告あり
合成樹脂管	石油化学素材 塩化ビニール ポリプロピレン ポリエチレン	石油化学製品 (樹脂+可塑剤などの多種添加物)	5～10年	特に添加物の遊離による 土壌や水質汚染 (環境ホルモンなど)	成分の分解による環境汚染を懸念、 本来掘り起して産廃処理が必要 (先々多大なコストがかかる恐れあり)

これからの子どもたちや子々孫々の方々にきれいな環境（農地※・河川・海など）をお返しするために、上記のことを十二分にご配慮いただき、予防原則にのっとりた施策をおとりいただきますようお願いいたします。

(※ 農地は、われわれの糧となる農作物を子々孫々、延々と作り続けてくれる貴重な資源ですから)

PUD(優益暗渠)協会  
九州支部